

研究機関：広島大学

研究課題名	血友病における神経合併症に関する研究
研究責任者名	広島大学病院 小児科 講師 石川 暢恒
研究期間	2021年5月30日(倫理委員会承認後)～ 2025年6月5日
対象者	2016年8月から2025年6月の間に最終受診が確認でき、広島大学病院小児科で血友病の治療を受けられた患者さん。
意義・目的	血友病の合併症として頭蓋内出血が3-4%で認められ、後遺症としててんかん・その他の神経合併症を生じることがあります。しかし、血友病患者におけるこれらの合併頻度その詳細な報告がなく、検討を行うことで臨床的に重要な知見を得られる可能性があります。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は年齢、血友病の病型、血友病の重症度、血友病の治療頻度と治療薬、出血合併症の有無、血液検査（一般生化学、凝固能など）、てんかんの有無、てんかん発症年齢、てんかん罹病期間、てんかんの発作型、頭部画像所見、脳波所見、てんかん治療法（薬剤、その他）、麻痺症状の有無、麻痺症状の治療（薬剤、その他）、リハビリテーションの状況、神経発達症の有無、神経発達症の程度、神経発達症の治療法（薬剤、その他）、その他の神経合併症の状況です。 (個人を特定可能な情報は解析に用いません)
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	広島大学病院小児科 講師 石川 暢恒
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりすることなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5212 (内線 : 2193) 広島大学病院小児科 講師 石川 暢恒